

【子どもの姿】

- 単元の見通しをもち学ぶ意欲をもって学習に取り組むことができた。
- 本単元までに学んだ技を見付けながら読めるようになってきた。
- 学んだ技（構成や表現の工夫）を、個別の言語活動や他教科・他領域の活動に生かそうとしている。
- 文章を的確に読み取ったり、言葉のもつ意味や働きから表現された内容を読み取り理解し判断したりする力が弱い。
- 課題解決に向けて進んで話し合ったり、相手の意見と自分の意見を関わらせたりする力が弱い。

【学校の教育目標】

豊かな心 たくましい力のある子  
 —考える子 仲よくする子 やりぬく子—

【研究主題】

国語科における「言語能力」の育成  
 ～ 説明的文章の指導を通して ～

【研究仮説】

主な言語活動を位置付けた指導計画をもとに、単位時間における指導の工夫をすれば、学ぶ意欲をもち、文を正確に読み取り、表現する力を身に付け、国語科でつけた言語能力を、他教科・他領域でも生かそうとすることができる。

言語能力とは「国語で正確に理解する資質・能力」「国語で適切に表現する資質・能力」「伝え合う力」と捉える。説明的文章の読解では、特に「国語で正確に理解する資質・能力」の育成に力を入れていく。

【目指す姿】

- ・学習の見通しをもち、技（構成や表現の工夫）を用いて、読者に伝えようとする筆者の思いや考えを読み取ることができる。
- ・自分の思いや考えを書き、伝え合うことで考えを深めることができる。
- ・図書館の利活用を通して、多くの文章に触れたり、国語辞典の活用を通して、意味を調べたりすることで、語彙力を高めることができる。
- ・他教科、他領域の学習や活動の場面において、国語科で身に付けた「言語能力」を生かそうとすることができる。

研究内容 1 主な言語活動を位置付けた単元指導計画の工夫	研究内容 2 課題解決型学習における単位時間の指導の工夫
<p>付きたい力から学習課題を設定し、その解決に向けて、課題解決的な学習となるように単元を設定する。付きたい力の系統性も踏まえる。</p> <p>(1) 『意欲、見通し』                      ア 付きたい力を明確にする                      イ 出口の見通しをもたせる導入を工夫する</p> <p>(2) 『筆者の考えや技(構成や表現の工夫)の読解』                      ア 説明文の内容の読み取りを実践する                      イ 筆者の技(構成や表現の工夫)を見つける言語活動を位置付ける</p> <p>(3) 『表現』                      ア 読み取った筆者の技(構成や表現の工夫)を生かして、自分の考え・感想を作品に表現し、伝え合う場を位置付ける                      イ 単元を通して、自分の考えや作品のよさに気付く評価を工夫する</p>	<p>(1) 活動の見通しと意欲をもてる導入の工夫                      ア 前時との関連を図る                      イ 単元名に記された指導事項を学習課題として位置付ける                      ウ 必然性のある課題を設定する</p> <p>(2) 読み取る力を付けるための工夫                      ア 語彙を確かに理解するための言語活動を位置付ける                      イ 根拠を明らかにした話し合い活動を設定する                      ウ ねらいに迫る『深め』の発問を工夫する</p> <p>(3) 学びが実感できる評価の工夫                      ア キーワードを使ったまとめを位置付ける                      イ 自分の学びや高まりを自覚できる評価を工夫する</p>
<p>研究内容 3 言葉の力を高める言語環境の充実</p>	
<p>(1) 図書館活動の充実                      ・読書生活の充実（推薦図書・本の紹介・読み聞かせなど）                      ・学習に役立つ図書や資料のリストと活用</p> <p>(2) 確かな「読みの力」を育む継続的な指導                      ・国語辞典の活用（3年～6年）                      ・「説明文の読み方」の指導                      ・朝の会の音読（全学年）                      ・全校ビブリオバトル（書評合戦）の指導                      ・説明文の技カード（構成や表現の工夫）の活用</p> <p>(3) 自分の考えを表現する場における指導の充実                      ・国語科で学んだことを他教科・他領域で活用する場の設定                      ・身に付けた力を生かした交流                      ・語彙を増やすための「言葉の宝箱」と「宝箱カード」の活用</p>	